令和元年６月 26 日

令和元年第２回神奈川県議会定例会

# 防災警察常任委員会報告資料

くらし安全防災局・警察本部

目　　次

Ⅰ　「かながわグランドデザイン　第３期実施計画(案)」について……１

Ⅱ　「かながわＩＣＴ・データ利活用推進計画(仮称)(案)」について…９

参考資料１　かながわグランドデザイン 第３期実施計画（案）
プロジェクト編 2019 － 2022
参考資料２　かながわグランドデザイン 第３期実施計画（案）
主要施策・計画推進編 2019 － 2022
参考資料３　かながわグランドデザイン 第３期実施計画（案）
指標・ＫＰＩ一覧
参考資料４　かながわＩＣＴ・データ利活用推進計画（仮称）（案）

## Ⅰ　「かながわグランドデザイン　第３期実施計画（案）」について

### １　策定の趣旨

・　県では、県政運営の総合的・基本的指針を示す総合計画として、平成24年に「かながわグランドデザイン基本構想」（以下「基本構想」という。）及び「かながわグランドデザイン実施計画」を策定するとともに、27年に「かながわグランドデザイン第２期実施計画」（以下「第２期実施計画」という。）を策定し、様々な課題への対応を着実に進めてきた。

・　平成30年度に「第２期実施計画」の最終年度を迎えたことから、政策全般について点検を行った結果、少子高齢化、グローバル化、技術革新の動きなどに進展はあるものの、「基本構想」策定時の社会環境については、変化の傾向が継続していることが確認できた。また、国連において採択されたＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の理念と県がこれまで進めてきた取組みは、軌を一にするものであることも確認できた。

・　こうしたことから、今後も現行の「基本構想」の方向性に沿って政策を推進することとし、「かながわグランドデザイン第３期実施計画」（以下「第３期実施計画」という。）を策定して取り組むこととした。

### ２　これまでの検討状況

平成31年４月15日　総合計画審議会への諮問
４月17日　県民意見募集等の実施（５月16日まで）
４月19日　総合計画審議会計画推進評価部会・計画策定専門部会（以下「部会」という。）における「第３期実施計画（素案）」の審議
令和元年５月17日　第２回県議会定例会　全常任委員会へ「第３期実施計画（素案）」の報告
５月22日　総合計画審議会における「第３期実施計画（素案）」の審議
５月30日　部会における「第３期実施計画（案）」の審議
６月６日　総合計画審議会における「第３期実施計画（案）」の審議

### ３　「第３期実施計画（素案）」からの主な変更点

#### (1)　プロジェクト編

・　「プロジェクト編」と「主要施策・計画推進編」の関係を示す図を掲載（２ページ）

・　「ＳＤＧｓ推進に向けた主な取組み」を掲載（72～73ページ）

(2)　主要施策・計画推進編

・　「プロジェクト事業費」を掲載（67ページ）

・　「付属資料」として、「策定経過」、「総合計画審議会委員名簿」及び「県民参加などの概要」を掲載（68～72ページ）

## 4　県民意見募集等について

(1)　実施期間

平成31年４月17日（水）～令和元年５月16日（木）

(2)　実施方法

・　県民参加用リーフレットの作成、配布（県機関、鉄道駅、大規模店舗等）

・　県ホームページへの掲載

・　県のたよりや新聞への掲載、ＳＮＳの活用

・　庁舎公開日のブース設置、会議等での配布

・　県内市町村への説明会及び意見聴取

(3)　意見数

906件（県民意見：876件、市町村意見：30件）

| 分野 | 件数 | 分野 | 件数 |
|---|---|---|---|
| (1)エネルギー・環境 | 72件 | (2)安全・安心 | 120件 |
| (3)産業・労働 | 101件 | (4)健康・福祉 | 178件 |
| (5)教育・子育て | 136件 | (6)県民生活 | 99件 |
| (7)県土・まちづくり | 125件 | (8)その他 | 75件 |
| | | 合　計 | 906件 |

(4)　主な意見

ア　エネルギー・環境

・　再生可能エネルギーの導入・普及を、実効性ある施策のもとに強く推進してほしい。

・　もっとリサイクルできる物を増やしたりしてゴミを減らす工夫があれば良い。

イ　安全・安心

・　大規模災害の発生直後は災害対策などに取り組むが、その後は忘れられがちのため、継続して取り組む必要がある。

・　防犯カメラの設置は犯罪が起きてからも、もちろん役に立つし、あるだけで犯罪の抑制になると思うので、もっと進めてほしい。

ウ　産業・労働

・　少子高齢化が進んでいく中で、ロボットはこれから必要になると思うので、ロボットと共生する社会に向けた様々な取組みを推進してほしい。

・　定年したあとの雇用を創出できたら良いと思う。長年積み重ねた経験を何らかの形で生かすことが出来たらよい。

エ　健康・福祉

・　高齢者の孤独死がこれから大きな課題になると思うので、対策を真剣に取り組んでほしい。

・　未病という考え方に対する取組みに関しては、環境整備ももちろん必要であるが、県民に対する意識付けが必要であるので、広報活動を推進していくべきである。

オ　教育・子育て

・　これからは英語教育が一層必要であると思うので、英会話など実践的な英語教育の環境を整える必要がある。

・　県立高校の施設が老朽化しているので、施設・設備を更新してほしい。

カ　県民生活

・　文化が育つ神奈川になってほしい。マグカルという名称を初めて知ったので、もっと広報する必要がある。

・　東京オリンピックに向けた交通政策がどうなるかが不明なため、もっと情報発信してほしい。

キ　県土・まちづくり

・　県内に都会や人口減少地域がある中で、にぎわいの地域格差をなくす取組みを進めてほしい。

・　横浜・川崎などの都市部以外の交通インフラの開発が必要である。特に県西地域では、防災や観光振興の観点から高規格な道路のネットワークを検討してほしい。

## ５　今後の予定

令和元年７月　総合計画審議会における答申（案）の審議、答申
「第３期実施計画」の策定

## ６　「第３期実施計画（案）」の概要

・　県の政策の全体像を総合的・包括的に示す「主要施策」などをまとめた「主要施策・計画推進編」と、喫緊の課題に対応するため先進性や発展性などをもった重点施策を分野横断的にとりまとめ、ねらいや具体的な取組みなどを示した「プロジェクト」などをまとめた「プロジェクト編」で構成する。

(1)　計画期間

令和元年度～令和４年度（４年間）

(2)　プロジェクト編の構成

１　策定に当たって

２　プロジェクト（５つの柱と23のプロジェクト）

柱Ⅰ　健康長寿

| | | |
|---|---|---|
| １　未病 | ２　医療 | ３　高齢者 |
| ４　障がい児・者 | | |

柱Ⅱ　経済のエンジン

| | | |
|---|---|---|
| ５　エネルギー | ６　産業振興 | ７　観光 |
| ８　農林水産 | | |

柱Ⅲ　安全・安心

| | | |
|---|---|---|
| ９　減災 | 10　治安 | 11　安心 |

柱Ⅳ　ひとのチカラ

| | | |
|---|---|---|
| 12　男女共同参画 | 13　子ども・青少年 | 14　学び・教育 |
| 15　文化芸術 | 16　スポーツ | 17　雇用 |

柱Ⅴ　まちづくり

| | | |
|---|---|---|
| 18　地域活性化 | 19　多文化共生 | 20　協働連携 |
| 21　自然 | 22　環境 | 23　都市基盤 |

３　かながわグランドデザインとＳＤＧｓ

４　神奈川の戦略

(1)　ヘルスケア・ニューフロンティアの推進

(2)　人生100歳時代

(3)　ロボットと共生する社会の実現

(4)　ともに生きる社会かながわの実現

(5)　地方創生の推進

(6)　マグネット・カルチャーの推進

(7)　グローバル戦略の推進

(8)　未来社会創造

５　計画推進のための行政運営

(1)　ＩＣＴ・データの利活用

(2)　持続可能な行政サービスの提供

(3)　多様な担い手との連携

(4)　クロスによる施策展開

(5)　戦略的な広報の実施

６　プロジェクトの指標・ＫＰＩ

７　プロジェクトと主要施策との関係

参考　神奈川をとりまく状況

(3)　主要施策・計画推進編の構成

主要施策

１　政策分野別の体系

Ⅰ　エネルギー・環境

Ⅱ　安全・安心

Ⅲ　産業・労働

Ⅳ　健康・福祉

Ⅴ　教育・子育て

Ⅵ　県民生活

Ⅶ　県土・まちづくり

２　地域別の体系

○　川崎・横浜地域圏

○　三浦半島地域圏

○　県央地域圏

○　湘南地域圏

○　県西地域圏

計画推進

１　計画の進行管理

２　個別計画・指針

３　プロジェクト事業費

付属資料

かながわグランドデザイン第３期実施計画の策定経過

神奈川県総合計画審議会答申

神奈川県総合計画審議会委員名簿

県民参加などの概要

### (4)　プロジェクト事業費

【会計別】　（単位：億円）

| 合計 | プロジェクト | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 事業費（４年間） | 一般財源 | 県債・企業債 | その他（国庫支出金など） |
| 一般会計 | 4,520 | 2,320 | 1,180 | 1,020 |
| 特別会計 | 150 | 0 | 0 | 150 |
| 企業会計 | 130 | 0 | 60 | 70 |
| 三会計合計 | 4,800 | 2,320 | 1,240 | 1,240 |

【柱別】　（単位：億円）

| プロジェクトの柱 | 事業費（４年間） |
|---|---|
| 柱Ⅰ　健康長寿 | 550 |
| 柱Ⅱ　経済のエンジン | 430 |
| 柱Ⅲ　安全・安心 | 1,100 |
| 柱Ⅳ　ひとのチカラ | 1,350 |
| 柱Ⅴ　まちづくり | 1,370 |
| 合計 | 4,800 |

## 7　くらし安全防災局・警察本部関連のプロジェクト

（　　：とりまとめ局、　　：関連局）

### (1)　くらし安全防災局・警察本部がとりまとめ局となっているプロジェクト

**PJ９　減災**　（参考資料１　32ページ）　くらし安全防災局

～災害に強いかながわ～

＜具体的な取組み＞

・自助・共助の取組みの促進

・災害対応力の強化

・災害に強いまちづくり

**PJ10　治安**　（参考資料１　34ページ）　警察本部

～犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり～

＜具体的な取組み＞

・県民に不安を与える犯罪の抑止・検挙

・交通事故の防止

**PJ11　安心**　（参考資料１　36ページ）　くらし安全防災局

～日常生活における安心の実現～

＜具体的な取組み＞

・犯罪などの起きにくい地域社会づくり

・犯罪被害者などへの支援

・消費者トラブルへの対応と未然防止に向けた取組み

**(2)　他局がとりまとめ局となり、くらし安全防災局・警察本部が関連局となっているプロジェクト**

**PJ５　エネルギー**　（参考資料１　22ページ）　警察本部

～かながわスマートエネルギー計画の推進～

＜具体的な取組み＞

・再生可能エネルギー等の導入促進

**PJ12　男女共同参画**（参考資料１　40ページ）　くらし安全防災局

～誰もがお互いを尊重し、共に参画し活躍できる社会づくり～

＜具体的な取組み＞

・暴力や差別のない健やかで安心なくらし

**PJ13　子ども・青少年**（参考資料１　42ページ）　警察本部

～子ども・青少年が健やかに成長できるかながわをめざして～

＜具体的な取組み＞

・支援を必要とする子どもを守る体制づくり

**PJ14　学び・教育**　（参考資料１　44ページ）　警察本部

～生涯を通じたかながわの人づくり～

＜具体的な取組み＞

・生涯にわたる学びの推進

**PJ20　協働連携**（参考資料１　58ページ）

くらし安全防災局、警察本部

～ＮＰＯなど多様な主体による協働型社会の実現～

＜具体的な取組み＞

・多様な主体による協働連携の推進

PJ22　**環境**（参考資料１　62ページ）　警察本部

～次世代につなぐ、いのち輝く環境づくり～

＜具体的な取組み＞

・気候変動への対応

## Ⅱ　「かながわＩＣＴ・データ利活用推進計画（仮称）（案）」について

### １　策定の趣旨

人口減少や少子高齢化の進展など社会環境の変化に伴い、多様化する県民ニーズへの対応が求められる一方で、税財源や人的資源の縮小が懸念されている。

こうした中で、限られた予算・人材を有効に活用し、ニーズに応じた質の高い県民サービスを提供するためには、検証可能な施策立案を進めるとともに、これまで以上に県の業務の効率化を図ることが必要であり、これらを実現する上で、ＩＣＴ及びデータの利活用は不可欠である。

そこで、県は、ＩＣＴ及びビッグデータを含む多様なデータの利活用に積極的に取り組むこととし、具体的な取組を示すものとして「かながわＩＣＴ・データ利活用推進計画」を策定する。

### ２　これまでの検討状況

令和元年５月17日　第２回県議会定例会　総務政策常任委員会へ「かながわＩＣＴ・データ利活用推進計画（仮称）（素案）」を報告

５月20日　県民意見募集実施（６月18日まで）

### ３　県民意見募集結果

#### (1)　募集方法

**ア　意見募集期間**

令和元年５月20日（月）～６月18日（火）

**イ　実施方法**

県のホームページへの掲載、県機関への配架等

**ウ　県民意見の提出方法**

インターネットメール、郵送、ファクシミリ

#### (2)　実施結果

**ア　意見総数**

１件

**イ　意見の反映状況**

今後の取組の参考としました。

**ウ　主な意見**

ＩＣＴは大変重要であることから、職員の人材育成（研修受講等）、専門部署の設置、他自治体との連携などに取り組んでほしい。

## ４　今後の予定

令和元年７月　　「かながわＩＣＴ・データ利活用推進計画」の策定

## ５　「かながわＩＣＴ・データ利活用推進計画（仮称）（案）」の概要

### (1)　概要

ＩＣＴ・データを積極的に利活用し、県民の安全安心や利便性の向上と行政内部の業務全般の効率化を実現するため、県民を対象とした「くらしの情報化」と、県内部の「行政の情報化」の２つの柱で取組を進める。

### (2)　計画の位置付け

・　かながわグランドデザイン及び行政改革大綱をＩＣＴ・データ利活用の側面から支えるための計画

・　官民データ活用推進基本法に基づく法定計画

### (3)　計画期間

令和元年度～４年度

### (4)　構成

#### ア　柱Ⅰ　くらしの情報化

健康・医療・介護、観光、農林水産・環境、ものづくり、インフラ・防災・減災、教育など様々な分野において、ＩＣＴやビッグデータを含む多様なデータの利活用を進めることにより、多様な県民ニーズに対応するサービスを実現する。

①　ＩＣＴ及びデータを利活用した県民サービスの提供

②　官民情報共有・整備の推進

③　県民サービスの更なる電子化の推進

#### イ　柱Ⅱ　行政の情報化

ＲＰＡやＡＩなどの新たなＩＣＴを積極的に利活用して効率化を図るとともに、庁内システムの見直しなどによるＩＣＴ環境の最適化やＥＢＰＭなど多様なデータ利活用を支える環境の整備を推進し、県民サービスの向上につなげる。

①　行政事務の更なる電子化の推進

②　クラウド適用の原則化

③　ＩＣＴガバナンスの強化

④　情報化人材の確保

## ６　くらし安全防災局・警察本部関連の施策

柱Ｉ　くらしの情報化

①ＩＣＴ及びデータを利活用した県民サービスの提供

＜分野＞オ　インフラ・防災・減災等

（施策名）０２：防災行政通信網の再整備（くらし安全防災局）

（施策名）０３：かながわ消防の初動対応力強化（Ｋアラート）（くらし安全防災局）

（施策名）０４：ＡＩ活用型犯罪・交通事故発生予測システムの整備（警察本部）

②官民情報共有・整備の推進

＜分野＞ア　オープンデータの推進

（施策名）０４：犯罪発生情報のオープンデータ化の推進（警察本部）